

令和8年度自然歩道関係功労者表彰 被表彰者

No.	被表彰者（推薦元）	功績概要	主な活動地域
1	平野 睦夫 （ひらの むつお）	森林組合期間雇用職員として、登山道の補修や草刈り、ゴミ拾い等を実施してきた。特に手がけていた猿倉登山口から田代山山頂区間の登山道においては、かつてぬかるみが酷く滑りやすく、足元が泥だらけとなる登山道であったが、登山道に毎日のように登り、近自然工法的に少しずつ登山道の手入れを行い、雨水等による浸食防止等を考慮した登山道整備を実施してきた。約1.7kmにわたる登山道の手入れは日々行われ、少しずつ改善されてきたが、たゆまぬ努力によって実現されたものである。取組により泥濘化が解消され、国立公園利用者にとって快適な登山道が保たれている。	尾瀬国立公園 田代山地域 猿倉登山口～田代山
	（関東環境局）		
2	かしわら水仙郷を育てる会 （かしわらすいせんきょうをそだてるかい）	当該団体は、自然歩道の維持管理を通じた地域貢献に尽力している。具体的には、貴重な里山環境の保全と魅力の向上を目的として、生駒山系における近畿自然歩道にアクセスするハイキングコースである高尾山創造の森に水仙の群生地を作る活動を展開している。市民からの水仙の球根募集・植栽に加え、遊歩道の草刈りや整備を計画的に実施しており、訪れる人々が安全かつ快適に自然を楽しめる環境づくりに努めている。冬には「かしわら水仙郷ウォーク」イベントを開催し、市内外から多数の参加者を迎え、里山の価値と重要性を広く発信している。	生駒山系自然歩道（近畿自然歩道）
	（大阪府）		
3	特定非営利活動法人みやまウォーキング協会 （みやまうおーきんぐきょうかい）	特定非営利活動法人みやまウォーキング協会は、九州オルレ「みやま・清水山コース」のオープン（平成29年2月）以降、みやま市における自然歩道の維持管理及び普及啓発に寄与する活動に尽力。オルレコースとなっている清水山一帯の登山道の環境保全のため、定期的にコースを歩き、倒木・雑草の処理や矢印・リボン・標識等の付替えなどの維持管理を実施等の活動を行っている。	九州オルレ みやま・清水山コース
	（福岡県）		
4	祖母山麓自然・人共生空間整備プロジェクト実行委員会 （そぼさんろくしぜん・ひときょうせいくわんせいびぷろじえくとじっこういいんかい）	登山者が安心・安全に登山できるよう、道標設置や倒木処理、土砂の撤去等を行っている。令和2年度からは、県委託による祖母山登山道の巡視・調査業務において、傷んだ階段等の補修や倒木処理、草切を行うとともに、今後措置が必要な箇所等を報告する等、登山道の維持管理に貢献している。 また、祖母山麓の希少植物やマシャクヤクの群生や、この地域の固有種、ウバタケニンジンやウバタケギボウシなどの保全のため、希少な動植物を掲載したトレッキングコースのパンフレットを作成するとともに、登山で祖母山を訪れる人や、将来この地域を担っていくことになる子どもたちに、正しい知識やマナーを伝えるべく、専門家を招いたトレッキング指導や親子自然観察会を開催している。	九州自然歩道 （祖母山区間）
	（大分県）		
5	屋久島山岳ガイド連盟 （やくしまさんがくがいどれんめい）	屋久島町条例に基づく「屋久島公認ガイド」の山部門会員を中心に、2015年に設立した。 エコツーリズムを理念とし、個々のガイドではなし得ることができない「環境保全」、「地域振興」、「観光振興」に取り組み、自然環境や地域文化を未来へとつなぐ活動を行っている。 2021年からは近自然工法による登山道整備にも携わり、行政や民間企業と協力して、山岳環境の保全にも注力している。	屋久島の登山道全般
	（公益社団法人日本山岳ガイド協会）		